



栃木第五小学校

栃五小学校だより

# 「ありがとう」

～ありがとうと言える人 ありがとうと言われる人になろう～  
(本校キャッチフレーズ)

令和8年3月号

発行日 令和8年3月24日

文責 木村 信孝(校長)



## 感動の卒業式…本校での6年間の歩みに感謝します

校長 木村 信孝



令和8年3月18日(水)の朝はやや曇りがかり、少し肌寒さを感じました。ただこの日は、その空をも明るく照らす太陽のような輝きを持つ73名の卒業生が旅立つ「ハレの日」でした。

平成7年度最大の行事である「卒業式」は、来賓の方々やたくさんの保護者の方々のご臨席をいただきながら、本校体育館にて盛大に挙行することができました。

真新しい制服に身を包んだ卒業生は、入場から堂々としていましたが、メインである「卒業証書授与」では、一人ひとりが大きな声で返事をして、とても立派な態度で証書を受け取ることができました。次に校長から式辞として卒業生への思いを伝えました。(恐縮ながら)一部を掲載します。

『・・・「おはようございます」と毎朝元気よく挨拶してくれる皆さん。真剣にそして明るく意欲的に学習に取り組む皆さん。…下級生によく声をかけ優しく面倒をみてあげていた皆さん。称える言葉に尽きることはありません。本当に皆さんは、「どこに対しても誇れる栃木市で一番の六年生でした。』

・・・本校のキャッチフレーズを改めて皆さんに贈ります。「ありがとうと言える人 ありがとうと言われる人になろう」…人から人へ伝えたり、伝えられたりする言葉で一番美しいものは、感謝の気持ち・言葉なのかもしれませんね。どうぞ皆さんがこれから歩む道、人生の中に、たくさんの感謝の言葉「ありがとう」があふれていることを強く、心から願っています。

・・・卒業生の皆さん、いよいよお別れのあいさつです。私からは「さようなら」ではなく、改めて感謝の言葉を贈ります。「皆さん、栃木第五小学校に入学し、ここで育ち、立派に卒業していくこと、本当にありがとう！栃木第五小学校は、皆さんの六年間のすばらしい歩みに、深く深く感謝します。卒業おめでとう！』

私は今年度着任し、卒業生とは1年間という短い付き合いでしたが、式辞にも表したように本当に立派な最上級生だったと思います。卒業生には褒めることと感謝することしかありませんでしたので、その気持ちをストレートに伝えさせていただきました。

式のクライマックスである「別れのことば」の終わりには卒業生が懸命練習した「大切なもの」の合唱が披露されました。練習の成果もあり、本当にすばらしい歌声とその余韻を本校に残し巣立ってくれました。

学校は、将来のよりよい社会を担う人材を育むとともに、一人ひとりが人生を幸福に楽しむための礎を培うところです。どうぞこの子たちが、たくさんの「感謝」に包まれながら幸福な人生を歩いていくことを願っています。

式が終わり、教室での担任との最後の語りもすみ校庭での見送りの時間になると、空は明るく太陽の日差しに温かさを感じる陽気になりました。この子どもたちの門出を祝福しているようでした。

# 卒業式アルバム



## 令和7年度修了式を終えて・・・

3月24日（火）には、令和7年度をまとめる修了式が体育館で行われました。式ではまず、各クラスの代表児童に修了証が校長より手渡されましたが、大変堂々とした態度で大役を担ってくれました。次に児童作文として1年生の さん、3年生の さん、 さんが、今年度よくできたことや来年度がんばりたいことを上手に発表してくれました。

校長の話では、この1年間のがんばりを褒めるとともに、卒業生にも伝えた本校キャッチフレーズ「ありがとうと言える人 ありがとうと言われる人になろう」を示し、「来年度はここにいるみんなで（先生も含めて）感謝の気持ちを大切に、更に強く優しい人になりましょう！そしてもっともっと良い学校にいきましょう！」と誓いました。

保護者の皆様や地域の皆様には、今年度大変お世話になりました。引き続き来年度も本校の教育が充実されますようご支援をお願いいたします。

### 修了証代表児童

1の1	さん	1の2	さん	1の3	さん
2の1	さん	2の2	さん	2の3	さん
3の1	さん	3の2	さん	3の3	さん
4の1	さん	4の2	さん	4の3	さん
5の1	さん	5の2	さん	5の3	さん